

自動車部門における CO₂ 排出削減効果

計量分析ユニット 末広茂、小宮山涼一、松尾雄司、永富悠、森田裕二
地球環境ユニット 沈中元

要約

化石燃料の価格高騰や資源問題、地球温暖化問題など、エネルギー・環境に関するさまざまな課題が表面化している。こうした課題は中長期的に取り組むべきものであり、国際政治の舞台でも、温室効果ガスの排出削減に関しては長期的な目標に向けた協議が活発化している。しかしながら、取り組むべき方向性については多くの研究機関や各国からさまざまな提案があるものの、国別やセクター別の役割などについてはいまだ十分な検討が行われていないのが実情である。なかでも、新興国におけるモータリゼーションの進展を背景に、石油需要及び CO₂ 排出量が増加することが見込まれている自動車輸送部門について、このような検討を行うことが益々重要になってきている。本稿では、こうした流れの中で、自動車輸送部門に焦点を当て、CO₂ 排出量の削減ポテンシャルとその費用対効果について分析を行なった結果を報告する。

お問合せ : report@tky.ieej.or.jp